

## 山荘だより（朝日山岳会）

## 洗 心 山 荘

遠 山 実

洗心山荘は、朝日村高根の標高約 370メートルに位置し、飯豊連峰・村上市・新潟方面を一望に見渡せるところにあります。

私も家内も登山を趣味としています。

奥三面の高橋源右エ門さん宅で、朝日連峰登行の行き帰り大変お世話に自分の家のように親しくしておりました。（現在またぎの家としてみどりの里に復元されている）

昭和60年三面集落の集団移転（ダム建設）で、山屋のよりどころがなくなり、自然と語り会えるところがほしい一念で、外観はどうでも雨水が防げる小屋として、昭和62年2階建ての山小屋を作りました。山荘といってもきれいなところではなく「流れ雲（\*）」同志がいろいろを囲みじっくり飲み語らいの場所です。[\*流れ雲=山仲間は、水滴（酒）の集りである。それぞれが山々で流れをたのしむ。山陵からの景観は、人生そのものである。]

## 洗心山荘完成まで

洗心山荘は山仲間の汗と笑いの結晶で、昭和61年秋車道終点まで資材を準備して、昭和62年春雪消えとともに資材運搬から始まりました。何と言っても一番大変なのは材料運搬です。土地は段々田んぼで人が歩く道よりなく、雪を利用してコンバインを改造して運搬機を作り、電柱一本一本を約 300メートルの距離を運び上げる作業が一番つらい作業でした。土曜日、日曜日、その他時間があれば作業に通い続け汗と笑いの小屋も6月末に完成いたしました。完成の宴は朝まで続いたのは言うまでもありません。

食料を運び水を運んだり同じ道を何回も行ききしているうちに、小屋を建てた周りの土地 5.5 アール がきがりになってきました。休耕している田んぼは、ススキ・ヨモギ・タニウツギ・ヤナギ等で田の姿は見えないほどになっており、一腹の時など荒れはてた土地を何とかできないものかと考え続け思い浮んだのが自給自足のまねごとを…と考えつきました。

特に小屋に集まる人は、焼肉大好き人間です、ピーマン等の野菜は体によく家内に野菜作りを担当してもらうことにしました。ソバ、サツマイモ、ピーマン、ナス、キュウリ、ダイコン、アスパラ、アズキ、ニンジン、トマト、サヤエンドウ等失敗を何回も繰返して季節によって食べられるようになりました。

また花も植えてあります。ユリは植えていますが、毎年猿に全部食べられてしまいます。人間が猿を山から里に呼びよせたからだときらめております。1株の花でも心がな

ごむように思います。さつまいもの味は、土壌のせいか集落付近より格別おいしいものが収穫されます。何かに挑戦してみたい方、自由に植えて楽しんでみませんか。

## 山荘での語らい

山荘では、アルコールの消費はものすごいものです。それだけいろいろの人達との語らいがあります。あまり飲んではばかりいるので、家内の考えて春、秋には山々を見ながらのお茶会を平成2年より行なって大変好評のようです。

お茶会は、本格的に先生を迎えて野点を行なっております。道具一式は、先生が準備し、作法はリラックスして習います。清水を用いた名水点での味は、山荘ならではのものです。茶会と焼物（陶芸）を同じ日にやっております。朝日村に昔からあったものを数年前に復活させた大行焼です。また会員には京都で習って朝日村で生計を立てている人もあり、1日皆んなで仕事を忘れ別の世界で楽しく過ごしております。これらの行事は誰でも自由に参加でき、皆んな友達を連れてきたり、保育所の子供から70才の方もおりいっしょに楽しめます。

洗心山荘は現在、「洗心居酒屋」に変身しております。気の合う仲間がいろいろを囲んで仕事も歳も忘れて語り明かして明日の英気を養って頑張っております。

車道も近年は、小屋の上を通り四輪駆動だと山荘の入口近くまで入れるようになりました。四季の自然の姿が感じとれる所だと思います。今年の冬は雪の中にすっぽりと入っております。

〒958-02 岩船郡朝日村大字高根 472

Tel 0254-73-0467



洗心山荘前で